

## 日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和6年3月13日（水）16：00～17：00

場 所：日本薬剤師会 第一会議室

出席者：山本会長、安部副会長

### 内容・提出資料：

#### 1. 新型コロナウイルス感染症の令和6年4月以降の医療提供体制及び公費支援等について (令和6年3月6日 日薬業発第469号)

安部副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

新型コロナウイルス感染症の令和6年4月以降の医療提供体制及び公費支援等について、厚労省医薬局総務課より本会宛周知依頼の事務連絡を受け、都道府県薬剤師会を通じて会員に周知したところである。

事務連絡の別添資料では、令和6年3月末をもって通常の医療提供体制への移行期間が終了し、4月以降は通常の医療提供体制となるが、引き続き各都道府県において一般流通する経口抗ウイルス薬を在庫する薬局を把握・公表することや、抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の用意等の住民への呼びかけの継続、オンライン診療・オンライン服薬指導の活用等に取り組むことが示されている。

また、新型コロナウイルス感染症治療薬については、令和5年10月以降は一定の自己負担を求めた上で公費支援が継続してきたが、本支援についても本年3月末で終了、その旨を周知するリーフレットが厚労省により作成されている。

さらに、同時期をもって「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（令和2年4月10日付事務連絡）が廃止されるほか、医療用抗原定性検査キットの薬局販売に係る特例も終了となる（検査キットの取扱いについては別途示される見込み）。

#### 2. 令和6年度診療報酬改定による恒常的な感染症対応への見直しを踏まえた新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の取扱い等について(令和6年3月8日 日薬業発第473号)

安部副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

令和6年度診療報酬・介護報酬の同時改定において、恒常的な感染症対応への見直しを行うことや、新型コロナウイルス感染症の流行状況や医療提供体制の状況等を踏まえ、厚労省保険局医療課より、本年4月以降、新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の取扱い等が示されたため、都道府県薬剤師会を通じて会員に周知したところである。

#### 3. 令和6年度診療報酬改定に関する通知の発出について（令和6年3月6日 日薬業発第470号）

安部副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

令和6年度診療報酬（調剤報酬）改定に関する省令・告示が3月5日付けで公布され、厚労省保険局より関係通知（算定上の留意事項など）が発出されたことを受け、それら12の通知について都道府県薬剤師会を通じて会員に周知した。その際、併せて、今回の一部改正が本年6月1日より適用となること、厚労省ホームページからも通知が入手できること、診療報酬改定説明動画が公開されていることを情報提供したところである。

#### 4. 第103回臨時総会について（ご報告）（令和6年3月11日 日薬発第288号）

山本会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

3月9日・10日に開催した、第103回臨時総会において、報告及び決議を行ったことを報告する。

決議事項では、議案第1号「令和6年度事業計画の件」、議案第2号「令和6年度会費額の件」、議案第3号「令和6年度収入支出予算の件」、議案第4号「令和6年度借入金（会務運営）最高限度額の件」が承認・可決された。

また、議案第5号「公益社団法人日本薬剤師会会長候補者及び副会長候補者選挙の件」は、会長候補者選挙では岩月進先生が当選、副会長候補者選挙では、森昌平先生、渡邊大記先生、原口亨先生、荻野構一先生、川上純一先生の5名が当選した。

主な質疑応答は以下のとおり。

##### 〈会長候補者選挙について〉

**記者：**今回の会長候補者選挙については、現会長としてどのように見ておられたか。

**山本会長：**自身の後を誰が引き継ぐかという意味では無関心ではないが、淡々と経過を見ていた。

##### 〈プロトンポンプ阻害薬（PPI）のスイッチOTC化〉

**記者：**12日の厚労省「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」で、プロトンポンプ阻害薬（PPI）のスイッチOTC化の議論が再開されたことについて、受け止め、今後の議論への期待についてはいかがか。

**山本会長：**かなり以前から議論があった医薬品と認識している。かつては、長期使用によりがんの症状がマスクされるなどといった指摘があり、PPIのスイッチOTC化がなかなか進まなかった経緯を踏まえると、PPIが持つ強さ、使用による様々な弊害について薬剤師がしっかりコントロールできれば、当然スイッチ化の議論の俎上に載ってもおかしくないと思っていたので、議論の俎上に載ったことは大きな変化と捉えている。これは、以前にも申し上げたが、スイッチOTC化は本会の会是でもある。OTC薬としての適正使用に向けて慎重な議論を等閑には出来ないことは言うまでもないが、その上で、糞に懲りて膾を吹かぬよう、医薬品を安全に使える環境を作っていくのが薬剤師の仕事である。

次回の定例記者会見は、令和6年3月28日（木）16：00～を予定。